

我が校の強み弱み分析・評価シート

『 調査結果による強み・弱み 』

<学習面>

【正答率より】

○国語科、算数科、理科の3教科とも全調査項目において、全国平均値を上回る正答率でした（下のグラフ◆参照）。3教科ともに、各問題に対しての正答率が高いだけでなく、無解答率も非常に低く（無解答者が少ない）、粘り強く最後まで問題に取り組もうとする姿が見られました。

●国語科の「読むこと」では、目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題において、全国平均正答率は上回っていたものの、5割強程度の正答率でした。

●算数科の「データの活用」では、目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題において、全国平均正答率は上回っていたものの、4割強程度の正答率でした。

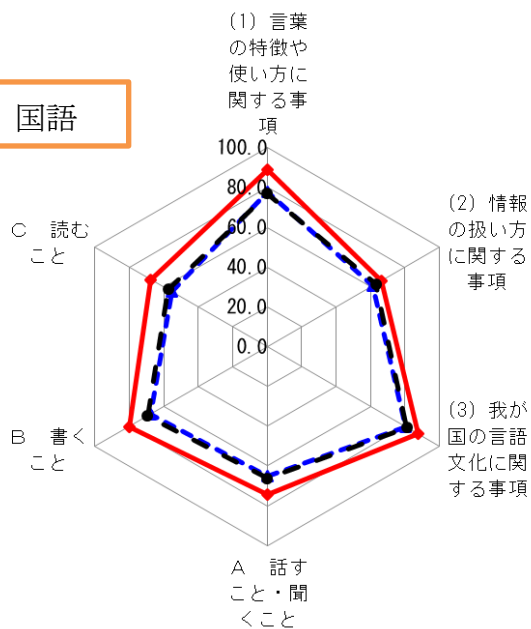
●理科の「エネルギー」「粒子」では、身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる問題において、全国平均正答率は上回っていたものの、2割弱程度の正答率でした。

◆学習指導要領の内容の平均正答率の状況◆

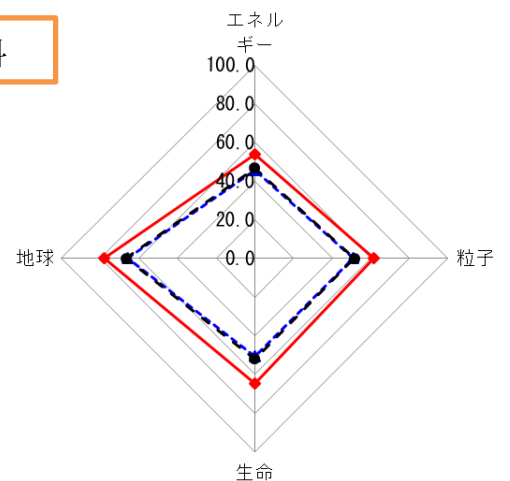
※本校の傾向をみるためのものであり、他校と比較できるものではありません。

（文部科学省からのデータをそのまま掲載しています。）

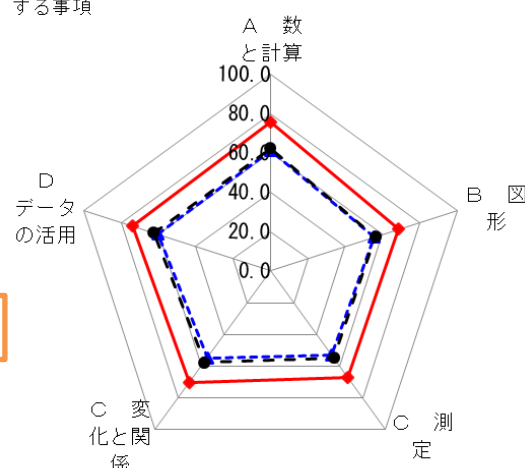
国語



理科



算数



—●— 貴校
—●— 滋賀県（公立）
—●— 全国（公立）

<生活面>

【質問紙調査より】

- 「国語の学習は好きですか」「算数の学習は好きですか」「理科の学習は好きですか」の設問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、全国平均をそれぞれ 4.6 ポイント、10.2 ポイント、8.7 ポイント上回っています。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」の設問に対しては、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童の割合は、全国平均を 5.3 ポイント上回っています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の設問に対して肯定的な回答をした児童の割合は、全国平均を 4.4 ポイント上回っています。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の設問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、全国平均を 7.5 ポイント上回っています。
- ICT 機器の活用に関して「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」「友達と協力しながら学習を進めることができる」「平日に、学校の授業時間以外に、1 日あたりどれくらいの時間、ICT 機器を、勉強のために使っていますか」の設問において、肯定的な回答をした児童は、全国平均をそれぞれ 6.2 ポイント、6.5 ポイント、4.1 ポイント下回っています。
- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の設問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、全国平均を 2.4 ポイント下回っています。
- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」の設問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は、全国平均を 0.5 ポイント下回っています。

【全国学力・学習状況調査をもとにした重点取組事項】

○学校教育目標の実現に向けて

学習習慣の定着、生活習慣の確立など、本校児童の強みを最大限に生かしながら、教育課程を常に見直し、学校教育目標である「自らじっくりと考え、考えたことをもとに行動をおこす子ども」の育成を図っていく。

○ICT 機器を活用した授業改善と家庭学習

「情報活用能力」を育成するために、様々な情報から必要な情報を選んで自分の考えをまとめたり、自分とは違う意見を受け入れてよりよいものをつくり出したりする活動を意図的に多く取り入れることで、児童の考えを広げたり、考えを深めたりできるように努める。また、授業の中での ICT 機器の効果的な使い方や家庭学習におけるタブレット端末の有効活用についても検討し、ICT 機器を活用した取組を推進していく。

○道徳教育及び人権教育の充実

道徳科の学習では、多面的、多角的に「自己理解」「他者理解」について考えられる授業づくりに努める。学校生活全般において、自己表現の場やボランティア活動を通して誰かの役に立つ喜びや人とつながるよさを感じられるようにしたり、異学年交流や児童会行事を通して共感性を育んだりしていく。

○話し合い活動の充実

ペア、グループなど少人数での話し合い活動の経験を積ませるとともに、学級会での話し合い活動を充実させることにより、互いの意見を尊重し合える態度や、話し合いをよりよく進めて合意形成できる能力を育成する。